

桜友会報

第5号
2010.8.10

昭和女子大学附属昭和小学校同窓会
「桜友会」

〒154-8533

東京都世田谷区太子堂1丁目7番57号

学校創立60周年事業へプロジェクトチーム

学年幹事会開く

今年度の学年幹事会が5月9日に33人が出席して開かれ、2013年の昭和小学校創立60周年に向けて記念事業を検討するプロジェクトチームをつくることを決めた。

学年幹事会の開催は昨年に続き2回



目。初めて参加した幹事も多かったため、最初に参加者一人一人が自己紹介し、それぞれの学年のクラス会・同期会などの活動状況、桜友会への要望などを述べ合った。

その後、執行部から学校創立60周年事業について幹事の意見を求めた。学校創立は1953年（昭和28年）で、この間の卒業生は4000人を超えた。学校

9月26日に総会懇親会

皆様の出席をお待ちしています

桜友会第5回総会・懇親会を9月26日（日曜日）、学園本部館3階の大会議室で開催します。

今年も4月に初等部を卒業したフレッシュな会員を迎え、恩師を交えて幅広い年代が語り合える楽しい会にしたいと思っています。今年も豪華景品があたる抽選会を新しい方法で計画中です。

会員の皆様のご参加をお待ちしております。

が還暦を迎えるのを機会に、記念の行事を桜友会として行うことが昨年の総会で承認されている。

幹事たちは小グループに分かれて、記念事業のあり方や、どんな行事を行うかのアイデアを出し合った。

記念事業は学校や父母の会と連携をとって行うことが重要だとの認識で一致した。また行う行事としては、学校の役に立つものを寄付する、記念植樹や記念誌の発行、コンサートや講演会などの開催などさまざまな意見が出された。

これらの意見を参考にしながら、プロジェクトチームをつくって検討を続けるとの提案があり、吉田副会長をリーダー

日時 2010年9月26日（日曜日）

午後零時30分～3時

会場 昭和女子大学学園本部館3階大会議室

会費 一般 3000円

大学生 2000円

中学生 1000円

（当日受付でお支払いください）

申し込み方法 本会報に同封の返信

用葉書でお知らせください。欠席の方も、確認のため投函するようお願いいたします。

52回生は卒業対策委員会を通じて申し込んでください。（52回生は11時集合）

とするメンバーを選んだ。

この日選ばれたプロジェクトチームのメンバーは次の通り。（敬称略、カッコ内は卒業回）

吉田昌史（6、桜友会副会長）、大隈剛（5）、近藤洋子（6）、大野あや子（11）、小園江園香（18）、吉元美礼（29）、簡井星子（35）

昭和小学校校長に

小泉清裕先生

桜友会第1回総会からご出席いただき、卒業生を励ましてくださった校長、江口雄輔先生は、4月から大学図書館の館長に就任されました。何十年も前に卒業した同窓生たちも親しみを感じていて、恩師が去られたような気持ちがあります。江口先生は9年間校長先生を勤められ、人見先生の教育の精神を基盤に力を尽くされ、初等部の子どもたちは広く活躍の場を広げました。卒業生からお礼申し上げ、今後のますますのご活躍をお祈り申し上げます。

新校長には小泉清裕先生が就任されました。「自分でできることは、自分ですます。」という年度目標にちなんで、始業式で子どもたちに「水曜日のお弁当は自分で作りましょう。」という提案をされ、自分でできることからチャレンジしてほしいと伝えられました。先生ご自身も新しいお弁当箱を購入して、水曜日にはお弁当を作っていらつしやるとのこと。9月の桜友会総会でお話しできるのを楽しみにしたいと思います。（2面に小泉先生の寄稿）

ふるさとのような初等部に

校長 小泉 清裕



本年度、昭和女子大学附属昭和小学校の第5代目の校長に就任しました小泉清裕です。

1977

年から中高部の英語教員として教壇に立ち、その後、大学の外国語学科で勤務した後、初等部の英語教育の開設にともなう、1994年度に初等部に足を踏み入れました。人見楠郎先生の命を受け、ちよつとの間だけ、初等部で英語を教えるつもりでしたが、気がつくところで16年目を迎えています。当初は初等部

の英語教育のことだけを考えていましたが、徐々に小学校教育の奥深さに魅了され、今に至っています。小学校教育の中に自分の身を置けたことを、今では心からうれしく思っています。

初等部の本年度の目標を「自分でできることは、自分でします。」とし、その具体的なことのひとつとして、「水曜日のお弁当は自分で作ろう」を提案しました。1年生はふりかけをかけるだけでもいいし、ご飯をお弁当箱に入れるだけでもいい。そして、6年生には、すべて自分だけで作ったお弁当を持参する児童がたくさん登場することを期待しています。児童に提案したからには、自分自身でもお弁当作りを実行しようと、水曜日や校外学習などのお弁当は自分で作るよ

うにしています。初等部でのさまざまな体験を通して、自分で考え、自分で実行し、おこなったことには自分で責任を持てる子どもにする教育をめざしています。初等部での6年間に蓄積した力を土台にして、自分の将来と日本の未来を創造してくれることを期待しています。

周辺の四つの美術館を訪ねます。どれも一流建築家の設計による個性的な建物の特徴などを専門家の目から解説していただきます。同期生同士お誘いあわせの上、またご家族連れでご参加ください。

☆コース（カッコ内は設計者）

○地下鉄表参道駅集合

- ① 新・根津美術館（隈研吾）
- ② 国立新美術館（黒川紀章）
- ③ 21 21 Century sight（安藤忠雄）
- ④ 森美術館（リチャード・グラックマン）

○森美術館屋上スカイデッキから（晴れば）夕陽を眺めて解散

○番外編 解散後、希望者は渋谷さんが設計を担当した六本木ヒルズ住宅棟の足元周りを、設計者本人の説明を受けながら散策します。

なお、集合場所等の詳細は申し込み後に直接お知らせします。

☆費用

美術館入館料と資料代〓当日徴収
大人〓4000円、大学生〓3000円、
高校生〓2500円、中学生〓1500円

☆参加申し込み

電子メールまたは葉書で、10月15日までに。ただし、定員（25人）になり次第締め切ります。

申し込みの際は、氏名、卒業回数（ないし卒業年）、連絡先を明記。在学中の場合は、大学、高校、中学の別もおねがいます。

桜友会へのご連絡は メールが便利です

桜友会事務局には常駐者がおりませんので、お電話いただいても対応できないことがあります。お問い合わせは電子メールまたはファクシミリでお願いします。特に電子メールは役員に転送されますので、すばやにお返事が可能です。

連絡先番号は次の通りです

E-MAIL ohyu@swu.ac.jp

ファクシミリ 03-3487-6850

電話 03-3411-5123

（学園本部総務部）

ホームページもご覧ください

桜友会からのお知らせは、ホームページにも掲載しています。新しい連絡事項のほか、「桜友会報」のバックナンバーもごらんになれます。

http://www.es.swu.ac.jp/es_graduate.php

六本木アート トライアングル巡り

「文化散歩シリーズ」第一弾

桜友会では、会員とご家族を対象とした文化レクリエーション活動の一環として、会員が案内役となる「文化散歩シリーズ」を企画しました。その第一回として、10月30日（土曜日）午後11時から渋谷一彦さん（建築家）を案内者とする建築散歩「六本木アートトライアングル巡り」です。ここ数年にできた六本木

『おかえりなさい卒業生』

平成22年4月30日、初等部創立記念行事が学園のグリーンホールにて開催されました。会場スクリーンには、創設者人見圓吉先生、人見楠郎先生を始めとして、草創期の恩師や児童達が映し出され、又、昔の校舎や学内の様子、行事の写真などが紹介されました。

今年は、平成13年4月から校長をされた江口雄輔先生が退任され、小泉清裕先生が第五代校長に就任されました。小泉先生は、児童達に、創立記念日を人の誕生日に例えて話をされ、生徒1人一人が何を想い、何をすべきかについて話されました。

次に、『おかえりなさい卒業生』は、学校側から校友会が要請を受けたもので、卒業生が児童に、自分の経験や体験、思っている事などを話す試みです。専門的な話題でも、身近な話題でも良しとするものです。その第一回目は、第1回卒業生である中田彰生同窓会長でした。中田会長は、自己紹介と共に、同窓会の説明をされ、4000人を超える卒業生が親睦の輪をあげ、母校の発展と生徒の支援を目的とする旨の話をされました。更に、中田会長の入学時（昭和28年）の時代背景に触れながら、開校当時、現理事長人見楷子先生が人見楠郎先生と共に、生徒募集のポスターを手作りしたエピソードなどを紹介しました。2年生の終わり頃に、大学校舎や初等部校舎が全焼し、思わず『校舎が焼けて、空気だけになっちゃった…』と作文に中田さんが

書き、圓吉先生が朝礼で、『校舎が焼けて何も無くなってしまったけれど、素晴らしい子供達がいる。すぐれた頭がある。心がある。丈夫な身体がある。これが力です。何も無くなっちゃった学校を見て、学校が空気だけになっちゃったと作文に書いた生徒がいる。2年生の中田彰生君です。幼い子供のなんと素晴らしい感性だろう、これは詩人です。皆さんは本を読んだり、自分で考えたり、勉強して立派な人になりましょう。』と話された事を例に圓吉先生の人柄を紹介しました。

在学中の一年生から六年生までの当時の学校生活や行事を分かりやすく話された。創立2年目から始めた総合学習の様に現在まで継続しているものもあれば、竹芝棧橋から船を利用した臨海学校。座席指定準急・日光号を利用した林間学校の様に、今の生徒が想像できない話題もありました。中田会長は、スカイツリーの高く大きく育って欲しいと話して結びました。

中田会長の世代が東京タワー世代であり、今の生徒がデジタル時代を象徴する押上のスカイツリーの世代とすれば、約半世紀の学園の発展変化も興味深いものがあります。
(吉田昌史)

1回生には懐かしい 「わたしたちのうた」

1回生の山田貴美枝（旧姓・森）さんから、小学校で使っていたうたの本が送られてきました。「校友会に引き取っていただければ、私も安心。本も落ち着くか」との手紙を添えて。

歌集のタイトルは「わたしたちのうた」。奥付には「編者・小学校音楽研究会、発行所・共益商社書店新社」とあり、昭和31年8月の発行です。新書版107ページに131曲の楽譜がぎっしりと納められています。最初の「校歌」は五線譜のみで、各校の校歌を書き込むように作られています。

「君が代」や「ほたるの光」「あおげばとうとし」など学校行事で使われる歌のほか、「春が来た」など文部省唱歌や「故郷の空」など外国民謡、「荒城の月」な

久しぶりの再会

平塚 茜

五月五日、子供の日に初等部校舎をお借りして、同窓会を行いました。



ど日本の歌曲など年配者には懐かしい曲ばかりです。



中学三年生となった今、私たちは勉強や部活動で忙しい日々過ごしています。私は昭和小学校を卒業してから同級生と会う機会が少なかったので、この同窓会がとても楽しみでした。

当日は、天気にも恵まれ、多くの同級生が集まることができました。今回の同窓会では、まるで初等部時代に戻ったかのように、グラウンドではクラス対抗でドッジボールを行い、教室では近況報告や思い出話に花を咲かせ、大変楽しいひとときを過ごすことができました。

卒業して三年しかたっていないですが、みんな思ったよりしっかりと生きていて、「お互い成長したのだなあ」と思いました。次の同窓会を開催するときには、みんなのようになっているのか考えると、とても楽しみです。

小学校時代をともに過ごした仲間たちとは、これからもずっと友達として付き合っていきたいと思います。次に会うときは、私も皆に負けられないような成長した姿を見せたいと思いました。

同窓生も参加できる初等部の行事

初等部へ行って見たい方、次の行事が良いチャンスです。お子様やお孫さんを初等部へと考えていらっしゃる方も、ぜひ、いらしてください。

9月11日(土) 10:00～12:00 夏休み作品展、

9月11日(土) 13:00～15:00 初等部入学の方への相談会
(14:30～15:00 学校説明会)

11月13日(土)～14日(日) 昭和祭 昭和っ子の展示他

他に、クリスマス子ども会、総合学習報告会なども重要な行事とのことですが、会場の人数の関係で同窓生の方は見学できないようです。

人見記念講堂でのクラシックコンサート

10月13日(水)「オルフェイ・ドレンガー ～スウェーデン王立男声合唱団」

10月26日(火) 奈良・正倉院復元楽器を奏でる「天平楽府」コンサート

11月25日(木) 仲道郁代ピアノ・リサイタル ～ショパン生誕200年記念プロジェクト～

12月7日(火) 読売日本交響楽団 ベートーヴェン「交響曲第9番 合唱付」他

12月9日(木) ゲバントハウス弦楽四重奏団 シューベルト「ます」他

大学主催の演奏会(文化研究講座)ですが、すばらしいプログラムばかりです。開演は18時15分。記念講堂事務室(電話 03-3411-5120)へお申し込みください。席料は2000円～3000円です。

会費納入・寄付のお願い

本年度(2010年度)会費の納入をお願いいたします。年会費は2000円で、複数年まとめてお支払いいただくこともできます。

郵便振替用紙を同封しておりますのでご利用ください。お名前、住所のほか会員番号も記入してください。(会員番号

はお送りした封筒宛名の下にあるEのあとに続く9桁の数字です)。

事務作業簡略化のためにすでに今年度分を納めていただいている方にも、振替用紙を同封しておりますのでご了承ください。

また、桜友会の活動のためのご寄付をいただけるとう幸いです。こちらも同封の振替用紙でお願いします。

平成21年度(2009) 会計報告

収 入		支 出	
前年度繰越金	4,212,343		
年会費	1,395,000	会報費	585,402
52回生入会金	864,000	総会費	719,325
総会/懇親会参加費	279,000	〃	686,435
総会お祝い金	30,000	年会費用振替為替用紙	7,700
52回生記念品代	82,110	事務費	567
ブックカバー販売代	24,000	通信費	200
銀行利息	256	慶弔費	16,485
		会議費	27,955
計	2,674,366		2,044,069
		来年度繰越金	4,842,640
合計	6,886,709		6,886,709

これまでに、次の会員から桜友会活動に寄付をいただいています。(五十音順、敬称略)

池田真理子、伊藤優姫、稲穂みき、今澤哲子、岩佐節子、太田鈴子、大津建史、岡本喜美子、粕谷佐知子、北原美由紀、清原和子、小林京子、塩田恵子、渋谷江美、須山直子、竹山恵美子、富田香里、中田彰生、仲山由利子、原一恵、廣田明子、藤本晃子、古田アロエ、又木由実子、宮崎民子、宮島典子、森彩里穂、森玲梨、師岡文男、山本直子、吉田顕子、吉田昌史、吉田靖子、渡辺恵

編集後記

この会報は、桜友会の役員会からのお知らせだけでなく、幅広い年代の会員がお互いの近況をつたえて心をつにできる場となればと願いを込めて作られています。その意味では、今号は役員以外の執筆が小泉校長先生の寄稿をのぞくと、50回生の同期会報告だけだったのがちよつと残念です。

クラス会・同期会を開いた、初等部時代の仲間と旅行をしたときは、ぜひ桜友会報にレポートを写真つきで寄せてください。そのほか本を出した、展覧会や演奏会を開いた、面白い旅行をした、宝くじで当たりなど、どしどし投稿をお待ちしています。

◆ ◆ ◆
今年度は、桜友会会長として初等部創立記念行事、昭和女子大学創立90周年式典、初等部・幼稚園合同運動会にお招きいただきました。

吉田副会長のレポートにもあるように、初等部創立記念行事では1年生から6年生までの全児童にお話する機会がありました。十分な準備もなく思いだすまま半世紀以上前の初等部生活を語ったのですが、熱心にしかも静かに聴いてくれたのに感心しました。終了後、先生方と立ち話をしていると、ころに1年生が3、4人やってきて「ありがとうございました」といつてくれたときの笑顔がとてうれしかった！

(中田)